

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年9月2日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <令和5年度主催事業> ・日帰りだよ！親子忍者大会外伝～香北のかいぞく～ ・日帰りだよ！親子でピザ職人 高学年 ・日帰りだよ！親子でピザ職人 低学年 ・日帰りだよ！ちびっこ忍ジャー ・日帰りだよ！親子で麵職人 ・日帰りだよ！プチ!! 親子避難生活体験 ・めざせ!!やなせたかし先生 ・青年リーダー研修		
施設内容	青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。 構造：本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡ 施設概要： - 研修室 3室（定員20名,80名,120名） - 宿泊室 定員127名 - 浴室3室 - 野外炊飯場 3箇所 定員300名 - ランニングコース 1コース 1.7km - オリエンテーリングコース 1コース 10km - ウォークラリーコース 2コース 5km		
職員体制	【R5当初】 職員：所長1名 会計総務部長1名 指導主任1名 指導員3名 調理主任1名 調理員2名 警備宿直3名 合計：12名		

2 収支の状況

(単位：円)

		R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(予算)
収入	県支出金	41,830,000	42,660,000	42,670,000
	事業費収入	329,333	466,945	505,000
	収入計	42,159,333	43,126,945	43,175,000
支出	事業費	1,199,325	1,181,496	1,525,000
	管理運営費	13,425,944	13,517,521	12,346,000
	人件費	23,701,417	24,507,314	25,380,000
	消費税	3,832,647	3,920,614	3,924,000
	支出計	42,159,333	43,126,945	43,175,000
使用料収入		613,081	1,353,510	1,777,000

3 利用実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
利用者数	12,681	3,927	4,664	5,381	9,596	7,250
利用団体数	132	67	80	102	141	104
宿泊者数	5,431	1,032	1,343	1,774	3,899	2,696
宿泊稼働率	23.2%	7.8%	9.8%	12.6%	19.6%	14.6%

※宿泊稼働率…宿泊利用室数/宿泊可能室数(室数×日数)

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	【評価】 ・安定した運営がなされている。 ・限られた人員でさまざまな取組を展開している。 ・利用目標は達成している。 ・日帰りプランの充実を図っている。 ・利用者個々へのお礼や次年度のチラシの配布など、積極的に取組を行っている。 【意見】 ・幼児・児童が減少していることを踏まえ、中学生以上を対象とするような取組をプラスできないか検討して欲しい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	【評価】 ・効果的なPRの実施やリピート率向上の取組(事業案内)もできている。 ・ホームページの充実も図っている。 ・主催事業において、天候の変化に柔軟に対応し、26事業を開催し982名の参加を得ている。 ・利用者ニーズの把握のために参加者アンケートをうまく活用し、効果的に要望を把握し事業企画に活かしている点は素晴らしい。 ・指導員の資質向上のために、外部の研修会へ職員を派遣している。 ・高齢者雇用(短時間パート5名)を通して、幅広い視点を心得て多様な利用者への対応に取り組もうとしていることは評価できる。 【意見】 ・主催事業への参加者のアンケート内容への対応について、評価の書式に記載して欲しい。特に「安心・安全」「スタッフの対応」の2点については些細な出来事も見逃さないようにして欲しい。 ・Googleマップ上のコメントについても施設に対する辛口コメントが入ることがあるため、チェックが必要。内容に応じてコメントを記載するなど対応の検討が必要。

③施設の運営について	【評価】 ・現状に対応して主催事業の形態をアレンジして実施している点が評価できる。 ・丁寧なフォローアップと緻密な広報によって、継続的に利用者を確保している。 ・災害時を想定した体験事業を実施している点は教育施設としての価値を高めている。 ・食品衛生対策はHACCPを導入していることは評価できる。 ・宿泊人数制限を撤廃し、コロナが原因で他施設に移った団体の呼び戻しに取り組んでいる。 ・施設の運営に関して必須である設備点検、老朽化備品等の修繕、交換、感染症予防対策、害虫駆除等を支障なく行い、施設の環境保全に努めた。 ・前年度評価シートを踏まえ、直ちに業務改善に取り組んでいる。 【意見】 ・衛生面において改善が図られていることは評価できる。しかし、高温化が進む中で、食中毒が発生するような事故が起こらないよう、さらに安全強化を望む。 ・うどんやピザ作り体験、野外で米を炊いたりカレーを作るなどの参加者自身が食品加工に関わる際の衛生管理にマニュアルを策定する必要がある。「菌を持ち込ませない・つけない・増やさない」の考え方とその対策を参加型企画にも可能な限り適用するよう求める。 ・建物設備の各種点検、消防設備点検の結果で指摘を受けた内容とその対応について業務評価の書式の中に記載して欲しい。 ・施設運営へのボランティアの参画を一層進めるよう期待する。 ・物価高騰等外部環境の変化に対応すべく、省エネルギーへの取組を継続し実施されることが必要。
④利用実績	【評価】 ・令和5年度の利用実績は、利用者数9,596人(1.78倍)、利用団体数141団体(1.38倍)、宿泊者数3,899人(2.20倍)と”コロナ禍”前の令和元年度に迫る実績となっており、順調に回復している。※()内は令和4年度比 【意見】 ・参加者人数をもっと増やすためには何が必要なのか、をスタッフの皆さんと考えて実践して欲しい。高知青少年の家、青少年体育館、塩見記念青少年プラザにかかる予算と利用者人数実績と比較すると、香北青少年の家は利用者・宿泊者合計で年間20,000人以上の実績を目指して欲しい。 ・児童数、学校数の減少に伴い、中学生以上の利用者増を目指して欲しい。
⑤収支の状況	【評価】 ・予算は適正に執行されている。 ・支出の増加もあるが、その増加分は低く抑えられている。 【意見】 ・参加料金の見直しをして、企画内容のバージョンアップとともに参加料金の引き上げを検討して欲しい。 ・引き続き管理運営費の削減に取り組んで欲しい。

総合評価	A 【評価】 ・事業の安定的開催に向けたボランティア集めも良い。 ・利用者の満足度も良い。 ・適切な運営がなされ、利用者の増加も見られることは高く評価できる。 ・施設運営及び広報等について工夫もよく見られ、よく尽力している。 【意見】 ・一番人気の忍者大会について、接触感染防止のみならず熱中症対策にも工夫をして実施している。今後はスズメバチ対策にも一層努めて欲しい。 ・利用者にとって安全な施設であることが第一であるため、場内の危険箇所の未然対策と衛生管理や参加者同士による事故防止など、危険回避に努めて欲しい。 ・参加者人数をもっと増やすためには何が必要なのか、をスタッフの皆さんと考えて実践して欲しい。高知青少年の家、青少年体育館、塩見記念青少年プラザにかかる予算と利用者人数実績と比較すると、香北青少年の家は利用者・宿泊者合計で年間20,000人以上の実績を目指して欲しい。 ・現在の着実な取組を引き続きお願いする。 ・”青年層”を含めた利用者層の拡大については、今後更に前向きな取組をお願いする。
------	---

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。